

## 子どもの個性を知る

田丸 あけみ

早いもので5歳児、みかん組がアトムで過ごす月日も、残り2か月となりました。

2月の5歳児クラス懇談会では、小学校への引き継ぎ資料を保護者にも見てもらい、補足をし、資料を完成させます。そして、3月末には担任が小学校へ出向き、気にして見てあげてほしい所や子どもが自分の言葉で表現しにくい部分でフォローをしてあげてほしい所など、丁寧な引き継ぎを行います。

アトムは無認可時代、5歳児保育を始めた1994年から、自分で引き継ぎ資料を作成し、学校の先生と話し合いを行ってきました。

“引き継ぎ資料作成”の懇談会では、親が我が子の個性を理解し、配慮する部分はどこか？また、困った時はどんな表現をする子か、など、我が子の個性を改めて確認する時間でもあります。

引き継ぎ資料は、子どもの“良い所・悪い所”というような評価をするものではありません。毎年、引き継ぎ資料を作成するにあたり「我が子の良い所も書いてほしい」という声が保護者からあがります。私が、5歳児の担任をしている時も、「子どもの良い所が書かれていない」という声がありました。私は「子どもを良い悪いという評価の目で見えていない。困る場面で助けてあげてほしいという願いを込めて作成している。子どもの事を評価の目で見ているのは、親のほうではないか？」と保護者とやりとりした事がありました。

子どもがどんな場面で不安になるのか、どんな時に配慮が必要で、困った時は、こんな表現をする、など、学校に引き継いで、先生にしっかりと掴んでおいてもらう事が、より子どもが安心して学校生活を送る事に繋がっていきます。そして、親も子どもの個性や、子どもがしんどくなったり、悩んだ時の表現の仕方（サイン）を掴んでおくことは、これからの子育てにとっても重要な事だと感じています。

保育園での子どもの姿と、家庭での姿をすり合わせしながら、評価の目ではなく、“我が子の個性”を知り保育園を卒園してほしいと願っています。

保育園生活の中で、子どもは様々な場面で、個性の自己紹介をしてくれます。

その個性は見え隠れしながら、ずっと持ち続けていきます。

だからこそ、我が子の個性を知り、子どもが悩んでいる時のサインの出し方や、表現の仕方を親が知る機会を保育園で是非作ってください。

### （インフルエンザが流行しています。）

温暖な気温から一変、急激に寒さが厳しくなったと同時に、インフルエンザが流行しはじめました。

園でも、手洗い、お茶でのうがい・小まめな喚起・水分補給・空気清浄機や加湿器の使用、酸性水での消毒など対応をしています。家庭でも、手洗いうがい、しっかりと栄養を摂る事や十分な睡眠を心がけてください。そして、人混みが予想される場所を避ける事も予防の一つです。

感染を広げない為にも、予防を心がけて下さい。よろしくお願いします。